

責任、誇り、期待、感謝を胸に、夢の大舞台へ――

藤本さんは、9月にロンドンで開催される「パラリンピック」車椅子バスケットボール（男子）の日本代表選手です。自身3度目となるパラリンピックでは、日本のエースとして活躍が期待されています。

【ゼロからの出発】

現在、車椅子バスケットボールのクラブチーム「宮城MAX」で活躍している藤本さん。車椅子バスケットを始めたきっかけは、高校3年の宮城国体でした。静岡県代表として陸上競技の砲丸投げに出場していたとき、初めて「宮城MAX」の試合を目の当たりにして、そのスピード感と、アグレッシブで迫力あるプレーに衝撃を受けました。「以前にも車椅子バスケットに誘われたことはありました。でも、自分は『義足で立つてバスケットができるのに、なぜ、わざわざ車椅子で・・・』と思っていました。彼らのプレーは、

そんな疑問を一瞬にして払拭してくれました」

「やるならば、宮城MAXで」と仙台の大学に進学し、1年生で見事センタープレーヤーの座を獲得。以降、同チー

とは全然違うものでした。車椅子に乗るのも初めて。全てがゼロからの挑戦でした。

【世界と戦う】

「大学生時代から代表入り



ロンドンパラリンピック 日本代表 藤本 怜央さん（鵜網出身）

も、個人でウエイトトレーニングを行い、体の大きなヨーロッパ勢に負けない体を作っています。今までは、手応えを感じていても、世界の速さと力の前に結果が出せませんでした。今年は、世界ランクも7位に上がり、チームの目標である『ベスト4』が現実味を帯びています」

【両親と同じ歩幅で叶える夢】

「自分の気持ちをしっかりと伝えられる人は、周りからも支えられる人になります。何かを頑張っている人には魅力があるし、それをしっかりと伝えられる人は、人を引き寄せます」と、今年2月の講演会で大津小の児童の前に話してくれました。

「私を一番支えてくれてくれる人は、間違いなく両親です。義足を履きながらも、両親と私は、同じ歩幅で歩いていると強く感じます」と、言い切る藤本さん。

最後に多くの支えに対して、「今回の大会は、期待してください」と、まっすぐに、力強く語ってくれました。



日本代表でプレーする藤本さん

Shimadian File #27
しまだ